

立田山憩の森・お祭り広場公衆トイレ公開設計競技2020
事前審査の質疑回答書

全体質疑		【270】 PRIMITIVE HUT 憩いの森の憩いの場
	質 疑	回 答
1	提案する建築の木造建築である一番の魅力を教えてください。	敷地が有する開放感や豊かな自然をより引き立たせる、風景と出会う場をつくり出す建築を目指しています。 木造建築によって自然の中に秩序を創出することが、環境に“馴染みながらも引き立てる”、人々の拠り所となる場をつくる最もシンプルで魅力的な方法であると考えています。
2	県産木材の使用量について、製材、集成材等のエンジニアリングウッドの別に示してください。	構造材：約4.7 m ³ （土台：105mm角、隅柱120mm角、柱105mm角、梁：105x240程度） 仕上材：約3 m ³ （杉板材厚み15mm） その他野材：約5 m ³ （構造用合板等） 柱、梁等の構造部材については、本計画では視覚的に見える部分では無いため、コストや強度面の条件を検討しながら、集成材を使用するかどうか判断します。
3	特に木材の耐久性確保の対策について説明してください。	外壁仕上材について、熊本県産の杉板を使用し、木材防護防腐剤を施すことで耐久性を確保します。構造体については、劣化を防ぐために通気工法を採用し、壁体内に通気を確保します。また、本提案は広場への新しい顔として、リズムのある木塊のプロポーションを採用し、その表情が時間と共に移り変わる経年変化も美しさの一つとして視野に入れていきます。外壁仕上材の杉板の貼り方については、縦張り、もしくは下見板張りとし、詳細設計時にコストや耐久性と意匠性のバランスを総合的に検討して判断します。
4	利用者にとって最も魅力的だと思われるところを説明してください。	森から広場に抜ける半屋外ヴォイド空間の並行配置によってもたらされる、美しい自然との出会いと、開放的で気持ちの良い居場所、そしてお祭り広場に対する新しいイメージの創出であると考えています。
5	実現する上で最も難しいと考えている部分と、その解消方法を示してください。	提出した図面では、個別質疑でご指摘頂いた通り、建設後の維持管理に難しい部分が多いと思われる為、竣工後のメンテナンスが容易になるよう、詳細設計として可能な限り解消方法を反映・改善します。具体的には、外壁材・屋根仕様、メンテナンス方法について、全体質疑3や7、個別質疑1や2の回答に準じる形で検討しています。
6	熊本の気候を前提として、提案作品の維持管理にとってのメリットとデメリットを教えてください。	メリット：突発的な雨にも対応できる人が集まり易い場所を提供すること。通風を確保し、内部空間及び半屋外空間での活動を快適なものにする。それらによって、清掃の市民参加を促し、維持管理を利用者も含めて行っていく。屋根については、地震や台風にも強いとされるガルバリウム鋼板を採用する。 デメリット：外壁に木材使用のため、劣化等が懸念される。大雨や集中豪雨などの際に半屋外空間への吹き込みが懸念される。
7	蜘蛛の巣や害虫の対策、屋根に積もる大量の落ち葉の対策など如何にメンテナンスしますか。	日常的なメンテナンスについて、利用者のアプローチや駐車場に近い位置（南側）に、訪れた人が誰でも使える掃除道具収納スペース（提出図面4枚目 PLANに記載）を設置し、清掃員が使用しやすいだけでなく、市民参加を促し、利用者のセルフメンテができるシステムの導入を考えています。尚、パブリックトイレはパブリックスペースへと質的な転換を求められていると書きました（提出図面3枚目）。これからの公衆トイレは、市民の主体的な関わりの中で単なる建造物を超えて居場所になると考えています。 落ち葉について、西側を水下側とする片流れ屋根とし、熊手で西側（森側）に落として処理する方法を考えています。尚、脚立や熊手等の必要となる道具は掃除道具スペースに収納できるスペースを確保しています。落ち葉のたまりやすい樋は設置せず、雨水は側溝等で処理します。
8	敷地周辺景観との調和について、設計上工夫した点を示してください。	以下の3点です。 ① 周囲の豊かな自然を引き立てる為に、シンプルな幾何学による空間構成 ② 視点によって視線の抜けや表情の移ろいを生む、道と並行するリズムカルな配置 ③ 時間と共に変化する木の味わいある外観
9	視覚障がい者の利用について考えていることを教えてください。	視覚障がい者（全盲者、弱視者）について、先ず空間構成により、利用者のアプローチ・駐車場から一番近い位置（南側）に多目的トイレ、次に男性用、奥が女性用という配置として、経験的に利用しやすい計画としています。また、広場や道といった人がいる場所から見通しの良い空間を作り、何かあれば誰かがすぐに察知できるように工夫しました。 内部空間については壁沿いに手摺りを設け、便器や手洗いの位置が認識できるようにします。さらに、主要な出入口である南のブロック付近には、トイレ案内図（触知図や音声ガイダンス装置等）を検討して、設置します。
10	山の中の公衆トイレですが、浮浪者及び不審者対策についてどのように考えていますか。	広場や道から見通しが良いこと、即ち死角をなるべく作らないことが最も重要であると考えています。また、半屋外のヴォイド空間には居場所があり、人々が座っているだけでも人の目（監視）がある為、対策として効果があると考えています。また、このヴォイド空間部分にも照明（必要に応じてセンサーライト等も検討）を設置することで、夜間においても防犯に配慮した安全で清潔な明るいイメージの拠点となるように計画します。
11	コストの削減について、最も効果が高いと思われる工夫について説明してください。	シンプルで合理的な構造と造形を採用しました。それは、豊かな自然環境に“馴染みつつも引き立てる”ことを考えた結果ですが、建築計画全体において、無理や無駄が生じず、コスト削減に繋がっていると考えています。

個別質疑		【270】 PRIMITIVE HUT 憩いの森の憩いの場
	質 疑	回 答

1	<p>断面図からは、屋根の仕様やディテールが不明です。雨水処理、防水やトップライトの考え方（天井のスリットは照明があるのか）について説明してください。</p>	<p>屋根はガルバリウム鋼板とし、西側（森側）が水下側となる片流れ屋根とします。提出時（提出図面4枚目 SECTION）は、切妻形状で記載しましたが、雨水処理や落ち葉対策（質問番号7にも回答）を鑑み、意匠性についても片流れの採用は問題ないと考えており、維持管理のしやすさ等を含めて勾配を判断します。トップライトは男子便器上部と女子便器上部に1箇所ずつ製品化されたものを設置し、内部の天井仕上材にてスリット形状の光を切り取る計画とします。天井のスリットには同じデザインでLED照明を設置する部分を取り、照度を確保しながら内装として統一感のある状態とします。</p>
2	<p>木造の土台が地面に近い、庇がない、屋根勾配がないといったことから、漏水や構造体および外壁の耐久性が懸念されます。構造体の腐朽、外壁の維持管理方針（木材の耐久性など）について説明してください。</p>	<p>土台については、漏水等の心配がない高さを確保します。外観として、木塊のプロポーショナルを美しく見せるために、土台と外装材の収まりについて検討し、出来るだけ基礎立上り部分が目立たない形を採用します。また、地面と土台のレベル差や基礎立上り部分の見た目を考慮しつつ、周囲の景観との調和を図るように建築周りのランドスケープを行います。</p> <p>屋根については、個別質疑1の回答に準じる。</p> <p>外壁については、全体質疑3の回答に準じる。</p>